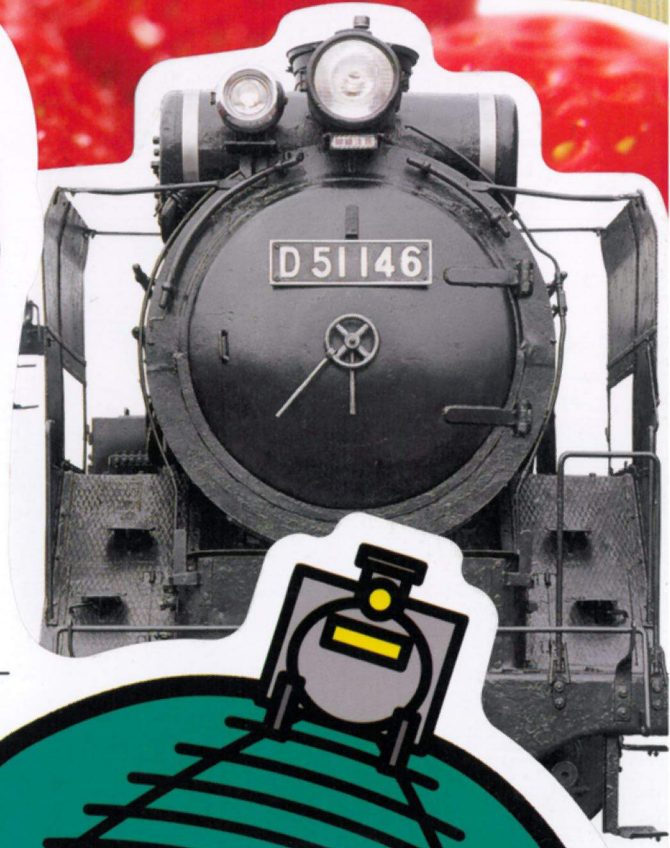




真岡市  
イメージキャラクター  
コットベリー



真岡市  
イメージキャラクター  
もおかぴょん

みどころガイド  
真岡  
もおか

# SLのまち

## 蒸気機関車が走るまち 真岡

日本で最初の官営鉄道として明治45年に開業した真岡鐵道は、土・日・祝日に蒸気機関車が走る人気路線。SLを模した真岡駅舎やミュージアム「SLキューロク館」など、見どころ盛りだくさんです。

### 第3セクターSL通年運行日本一

真岡鐵道は、毎週SLが定期運行される全国でも数少ない路線。運行するのは、土・日・祝日と夏休み期間の金曜日。茨城県下館駅～栃木県茂木駅間を一日一往復走行しています。沿線には、四季折々の撮影スポットが数多くあり、鉄道ファンたちが腕を競っています。



春にはこんな景色も見られます！



夢とロマン！



SLキューロク館 初代館長 湯浅 陽三 さん

### 時を経て、感動の再会！

展示されている「9600形」と「DS1」には旋回窓、「スハフ44形客車」には2重窓と、雪や寒さへの工夫が凝らされています。同時代に北海道の大地を駆け抜けた3両が一堂に会する光景に胸が熱くなります。



清水昭一氏提供

北海道を走る当時のDS1-146号と、客車スハフ4425号。同じ北の大地を走った車両が、数十年の時を越えて、真岡の地で再会を果たしました。



### スハフ4425号

スハフ44は、急行列車用に作られた43系の北海道向け車両。計27両が昭和27年～29年に製造され、伝説の重連急行「ニセコ」の客車として使用されました。



通年  
運行

キューロク館  
敷地内  
運行

通年  
運行

### 🚂 C12-66号

昭和7年～15年と昭和22年に282両が製造された車両。福島県川俣町で静態保存されていたものを平成3年に譲り受け、平成6年3月に真岡鐵道で運行を開始。今も現役で活躍する、日本で唯一のC12形です。

### 🚂 49671号

大正2年に1号機が誕生して以来、14年間に渡り製造。合計で770両が日本各地を走り回った、大正時代を代表する蒸気機関車のひとつ。土・日・祝日には1日3回、圧縮空気を動力に自走。その際、車掌車への乗車も可能(有料)です。

### 🚂 C11-325号

C11形は、昭和7年から21年までに381両が製造された小型のSL。この車両は、平成8年3月に新潟県の水原町(現:阿賀野市)から譲り受けたもので、復旧整備の後、平成10年10月に真岡鐵道に引き渡され、今もC12形とともに客車を牽引しています。

### 🚂 D51-146号

「デゴイチ」の愛称で有名なSLの代名詞。この車両は昭和13年11月製造で、北海道の室蘭本線や函館本線で運用された経歴を誇ります。昭和50年の引退後、静岡市の城北公園に展示されていましたが、老朽化が進んだため「産業遺産としての保存・活用」が可能な譲渡先として、平成27年に真岡市へと移管されました。

## SLの走るまち拠点施設 「SLキューロク館」



真岡駅前「SLキューロク館」。その名称は、館内に展示される9600形のニックネーム「キューロク」から。太いボイラーや短い化粧煙突、二つのドームにかたどられた姿で親しまれた機関車です。これら展示車両の乗車見学や、機関士の制服での記念撮影(有料)などが楽しめる人気スポットです。



SLをモチーフにした真岡駅

## 動くキューロクの 迫力は圧巻!

汽笛を鳴らして館内を走るキューロクや、息子が大好きなデゴイチなど実車の展示が多く、運転席にも座れるのは魅力的。すぐ横に真岡鐵道の車両も走っていて息子も大興奮、また連れて来てあげたいと感じました。

ココが  
すごい!



埼玉県在住 藤田さんご家族

【営業時間】10:00～18:00

【休館日】火曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始(12/29～1/3)

【住 所】真岡市台町2474番地6

【電 話】0285-83-9600 <http://sl-96kan.com>



# 生産量日本一のいちご

## 産地だから味わえるフレッシュ感

いちご王国・栃木県の中でもトップに君臨するのが真岡市。その生産量は年間約7,000トンと日本一を誇り、栃木県で開発された人気品種「とちおとめ」や「スカイベリー」、希少な「とちひめ」などを、市内約500軒の農家が栽培しています。直売所での販売はもちろん、冬から初夏にかけて、いちご狩りも楽しめます。甘味の乗ったフレッシュな果実感は、まさに産地ならではの贅沢な味わいです。



ビニールトンネル栽培やパイプハウス栽培など試行錯誤の末に編み出されたのが、温度が一定の地下水を霧状にしてハウス内を温める「ウォーターカーテン栽培」。環境に負荷をかけず温かな状態を保ち、果実に自然な甘さを凝縮させます。

## 大好きないちごが食べ放題！

真っ赤に実った完熟いちごは、食べた瞬間に甘さと香りが口いっぱいに広がります。ゆったり時間制限なしで楽しめるし、清潔で獲りやすい高棚式栽培もあるなど、とても好印象です。

家族連れに  
オススメ！



埼玉県在住 加藤さんご一家



いちご狩りは1月上旬から5月中旬まで楽しめます。お持ち帰りはできませんが、時間無制限で食べ放題です！

いちご狩り  
ならココ！

## 井頭観光いちご園

(農産物販売交流施設いがしら「あく里っ館」)

【営業時間】9:00～16:00

【営業期間】1月上旬～5月中旬

【住所】真岡市上大田和3006番地

【電話】0285-81-1141





スカイベリー  
(実物大)

## ぜひ食べたい！ 日本一いちごグルメ

いちご日本一を誇る真岡市ならではの、一風変わった!? ほかでは食べられない「ご当地限定いちごグルメ」をご紹介します。

### いちごまつり

毎年5月中旬に二宮地区のコミュニティーセンターで開催。いちご食べ放題(事前抽選)など、イベント盛りだくさん。



ご飯と  
いちご!?

### いちご飯バーガー

真岡北陵高校と真岡工業高校、市内の飲食店が共同開発したご当地グルメ。いちごの炊き込みご飯のパンズに、とちぎ和牛や地元の食材を用いたパテを挟んだオリジナルのライスバーガー。  
お問合せ: 真岡市観光協会 TEL:0285-82-2012

甘くて  
おいしい!



幻のいちご  
たっぷり!

### 道の駅にのみや 「とちひめジェラート」

市場に出回らず「幻のいちご」と呼ばれるとちひめのジューシーな甘さを堪能!

とちおとめが  
ぎっしり!



### プレミアム とちおとめロールケーキ

とちおとめをふんだんに使用していて、ふわふわの生地と、まろやかなクリームが絶妙です。

### 道の駅にのみや

【営業時間】9:00~18:00  
【定休日】第3火曜(祝日の場合は翌日)  
【住所】真岡市久下田2204番地1 【電話】0285-73-1110

### 大 追 力

### いちごのかき氷

注文を受けてから果実を絞って作るシロップと、フワリときめ細かな氷が時間差で口の中で溶ける魅惑の舌触り。市内のかき氷店で味わえます。  
お問合せ: 真岡市観光協会 TEL:0285-82-2012



とちおとめ  
(実物大)



# 江戸の木綿問屋がこぞって求めた 絹のように滑らかな織物「真岡木綿」

良質な綿花の栽培地であり、その木綿を用いた織物「真岡木綿」の産地としても名高い真岡市。江戸時代、絹を思わせる滑らかな肌触りの織物は絶大な人気を誇り、「真岡」といえば、そのまま木綿の代名詞として通用したほど。当時、江戸の木綿問屋はこぞって真岡木綿を求め、文化・文政・天保のころには年間38万反を織り上げるほど隆盛を極めました。その後、安価な輸入糸の流通により生産が途絶えた時期もありましたが、今は真岡木綿会館を拠点に生産を再開。綿花の栽培から糸紡ぎ・染め・織りまですべて昔ながらの手作業で行っています。長年の伝統を受け継ぎつつ現代的な感性を取り入れ、和装はもちろん、日々の中で活用できるアイテムを製作・販売しています。



▲真岡木綿問屋前のにぎわい  
(金鈴荘所蔵のうちわ)



▲1957年ごろの機織り風景(広瀬氏所有)

## 真岡木綿会館 ①

真岡木綿会館では、糸紡ぎや機織りなど生産工程の見学をはじめ、機織りや染色の体験(要予約)もできます。

【開館時間】10:00~17:00

(見学受付は16:00迄)

【入館料】無料(機織り、染色体験は有料)

【休館日】毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)

【住所】真岡市荒町2162番地1

【電話】0285-83-2560(体験要予約)

見学・体験  
できます!



機織り体験



染色体験

バリエーション  
豊富!  
真岡木綿製品



ティッシュケース



きんちゃく



トートバッグ



名刺入れ



コースター

真岡木綿製品は、久保記念観光文化交流館 真岡市観光物産館で販売  
お問合せ:TEL.0285-82-7205

真岡  
めん

しなやかさとしてを  
着心地がいいです



ココが  
特徴!

昔ながらの  
伝統と技術!

全国各地に木綿織物の産地は数あれど、綿花の栽培から糸紡ぎ、機織りまで、すべての工程に一貫して携わるのが真岡木綿の特徴。使い込むほどに柔らかく肌になじむ手紡ぎ手織りの真岡木綿を、ぜひ暮らしの中に取り入れてみてください。



織姫 吉沢 知加子 さん

隔月第2日曜日

# 真岡まちあるき

定期開催中

## 駅前～門前エリア

### 歴史ロマン薫る魅惑の街並み

古くは寺町として、大正～昭和期には料亭や芸者置屋が並ぶ花街として賑わいみせた門前地区は、今もかつての風情が薫る趣深い街並みが魅力的。最近では、レトロな建物を活かしたスタイリッシュなカフェやショップが集まるエリアとしても注目されています。



### 岡部記念館 金鈴荘 ②

明治初期の豪商、岡部呉服店2代目の久四郎氏が、10余年をかけ贅を凝らして建てた土蔵造り家屋。県指定有形文化財。

【開館時間】10:00～16:00

【入館料】無料

【休館日】毎週火曜日

(祝日の場合はその翌日)

【住 所】真岡市荒町2096番地1

【電 話】0285-83-2560(真岡木綿会館)

### デザインマンホール



各地でじわじわ人気になっているデザインマンホールが真岡市内にはなんと50か所以上も!市のイメージキャラクター、コトベリちゃんが目印、ぜひ探してみてください。

**真岡まちあるきMAP**  
スマートフォン用サイト  
スマートフォンよりアクセスしてご覧ください。



## 久保記念観光文化交流館 ③

真岡市ゆかりの美術評論家・久保貞次郎氏が所有した、明治～大正期の歴史的建造物群「旧久保邸」をリノベーションした施設。敷地内には、「久保記念館」「美術品展示館」「観光まちづくりセンター」「観光物産館」「イタリアンレストラン・トラットリアココロ」の5つの建物が連なっています。大正12年に建てられた大谷石造りの米蔵で、池田満寿夫や瑛九など久保氏と親交の深かった画家たちの企画展が行われる「美術品展示館」や、切り絵などのワークショップも開催される明治12年建築のなまこ壁土蔵「観光まちづくりセンター」など、古き良き時代の雰囲気を感じられる空間です。

◎真岡市荒町1105番地1 ◎TEL:0285-82-2012 ◎9:00～18:00 休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

### ・久保記念館 (真岡市指定文化財)

明治40年の建築で、「日本銀行宇都宮代理店真岡出張所真岡支金庫」として使われていた建物。1Fは観光案内所となっています。

### ・観光物産館

真岡木綿をはじめとする、地元の特産品や名産品を展示販売する施設で、ここでしか買えないお土産品など品数も豊富です。◎TEL:0285-82-7205

重厚感  
溢れる  
空間



### ・美術品展示館

かつて「久保アトリエ」と呼ばれた石蔵で、久保コレクションや宇佐美コレクションなど、真岡市所蔵の美術品の企画展を行うギャラリー。

◎入館無料

### ・久保資料室

久保記念館2Fにある資料室。久保氏の残した書簡、写真、原稿など貴重な資料の展示を通じて、氏の人物像や幅広い活動が垣間見えます。

◎入館無料

トラットリアココロ

### ・Trattoria COCORO

久保記念観光文化交流館内にあるイタリアン。ランチはバスタセットが人気。落ち着いた雰囲気の中でのディナーもおすすめ。

◎TEL:0285-84-8008

◎カフェ10:30～17:00 ランチ11:30～14:00 ディナー17:00～19:30

◎定休日 火曜日(終日)、水曜日(ランチ)





# まちを彩る一万本の桜

## 春の訪れを告げる真岡の桜

春の訪れとともに、真岡市内には約一万本の桜が咲き誇り、まちは愛らしい淡紅色の情景に包まれます。

市内に一万本以上の桜を数える真岡市は、桜の名所もそこかしこに。春、桜色に染まる街並みを、気の赴くままぶらりと散策してみれば、その美しさに思わず足を止めてしまいたくなる。そんな見事な風景に、きっと出会えることでしょう。

### 一度は見ておきたい桜の名所

桜の名所が多い真岡でも、一番の賑わいを見せるが中心部を流れる行屋川の岸边。樹齢80年・約200本のソメイヨシノが咲き乱れ、隣接する城山公園や真岡小学校の桜とともに春の競演を繰り広げます。特にボンボリの灯火が川面に映える夜桜は、幻想的な美しさが一層際立ちます。



オススメ!

### 隠れ桜スポット!

久下田地区の芳全寺境内にひっそりと咲く、樹齢200年のしだれ桜は格別。浄域らしい凜とした静寂の中、鮮やかに彩られた桜が青空に映え渡る様は、ソメイヨシノとはまた異なる趣で心に染み入ります。



真岡市在住 星操さん 岡綾さん

